

平成27年度
教育委員会予算要求方針

【目次】

- 1 平成27年度教育委員会予算要求総括表及び経営方針・・・1
- 2 重点的に取り組みを行う主なもの・・・・・・・・・・6

1 平成27年度教育委員会予算要求総括表及び経営方針

(1) 平成27年度教育委員会予算要求総括表

【一般会計】

平成27年度要求総額 28,050,306千円
 (平成26年度当初予算額 20,264,253千円)
 前年度比 +38.4%

《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成27年度 予算要求額(A)	平成26年度 予算額(B)	増減 (A-B)
「子どもひまわり学習塾」事業	133,000	67,000	66,000
学校の読書活動推進事業	170,051	78,300	91,751
北九州市学力状況調査事業	79,942	0	79,942
門司総合特別支援学校整備事業	2,753,809	693,500	2,060,309
学校支援のための市費講師配置事業	594,858	539,200	55,658
「チーム学校」運営・推進事業	356,931	227,825	129,106
教師用教科書及び指導書等の購入	353,732	0	353,732
県費負担教職員の権限移譲に係る 人事・給与等システム構築事業	133,800	0	133,800
小中学校等空調設備整備事業	903,819	76,200	827,619
大規模改修事業	971,494	0	971,494
天井等非構造物落下防止事業	353,228	18,360	334,868
学研地区における小学校新設事業	852,900	1,015,000	▲162,100
耐震補強事業	856,526	1,446,100	▲589,574
八幡図書館移転整備事業	450,679	2,100	448,579
学校支援地域本部事業	31,200	23,600	7,600

(2) 平成27年度教育委員会経営方針

教育委員会では、「元気発進！北九州」プランの部門別計画である「北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」及び「北九州市生涯学習推進計画」を着実に推進する。

子どもの教育の分野では、教育プランに掲げる基本方針「教育日本一を実感できる環境づくり」を目指し、「子どもの教育」に対する満足度を高めるとともに、市民の参画を進める取組みを総合的に推進する。

また、生涯学習の分野では、生涯学習推進計画に掲げる「市民が学び、つどい、輝くまち、北九州市をめざして」を目標に、まちづくりを支える人材の育成に向けた取組みの一層の充実を図るとともに、現計画が平成27年度に終了することから、次期計画の策定を進める。

平成27年度は、子どもひまわり学習塾、学校支援地域本部事業、経済界との連携による学校支援モデル事業などをさらに推進し、学校、家庭、地域が総がかりで、「思いやりの心をもつ、自立した子どもをはぐくむ」という本市教育の目標の実現に向けて取り組む。

子どもの教育に関する分野

① 思いやりの心をもつ、自立した子どもをはぐくむ

○心の育ちの推進

- 教育活動全体を通じて児童生徒の道徳的実践力や人権感覚をはぐくみ、規範意識の向上を図るため、道徳教育、体験活動などを充実するとともに学校行事などを通して児童生徒のコミュニケーションや人間関係づくりを促す。
- 生徒指導体制の充実などにより、いじめ等問題行動について子どもの心のサインを見逃さず、未然防止、早期発見に取り組むとともに、的確な実態把握ときめ細かな対応により、早期解決を図る。
- 「中学校合唱フェスティバル（仮称）」を開催するなど、子どもの豊かな情操を育む取組みを推進する。

○確かな学力の向上

- 学習意欲を高める授業づくりを支援し、基礎的・基本的な知識・技能の定着とともに、それらを活用する力を高める。
- 子どもひまわり学習塾を拡充し、基礎的・基本的な学力や学習習慣の定着をさらに推進するとともに、本市独自の学力調査を実施するなど、子どもたちの個に応じたきめ細かい学習指導を通じて、学力の向上を図る。
- 学校図書館職員の配置やブックヘルパーの活動などによる、学校図書館の機能充実を通して、学校における読書活動を一層推進する。

○健やかな体の育成

- ・オリジナルダンスの一層の活用による授業の工夫改善や、授業以外での学校全体での年間を通じた取組みの充実により、運動習慣の定着や体力の向上を図る。さらに、部活動を通して良好な人間関係の構築を図るとともに、生徒の健全な心と体を育む。
- ・学校給食を生きた教材とし、小・中学校 9 年間を通じて子どもの発達段階に応じた食育指導を引き続き行うとともに、安全・安心で栄養バランスのとれた魅力ある美味しい給食を提供する。

○子どもの意欲を高め、特性を伸ばす教育の推進

- ・小学校の授業等においてALTを活用したり、中学生が自己の英語力を試したりする機会を充実させ、児童生徒の英語を使ったコミュニケーションに対する意欲を高める。
- ・環境未来都市としての北九州市の独自性を踏まえ、小学校4年生全員が学習する環境体験科など、環境教育を推進し、学んだことと実社会とのつながりを感じ取ることができる教育活動を進め、子どもの意欲を高める。

○特別支援教育の充実

- ・早期支援コーディネーター、スクールカウンセラーの配置など、特別支援教育における相談機能や支援体制の充実を図るとともに、教職員の専門性の向上や保護者・市民への理解啓発を行う。
- ・児童生徒の増加に伴う門司総合特別支援学校の新設や、複数障害種を対象とする特別支援学校の総合化など、全市的な視野に立った、特別支援教育の体制整備を進める。

② 学校・教職員の力を高める

○信頼される学校・園経営の推進

- ・裁量制による35人以下学級の対象学年の拡充とともに、各学校の現状や課題に応じて市費講師を柔軟に活用できる環境づくりを進め、学校・教職員を支援する。
- ・スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーなどの専門スタッフが、教員とともにチームとして、さまざまな教育課題に対応するための「チーム学校」の体制を整備する。
- ・平成26年度策定の「北九州市いじめ防止基本方針」を踏まえ、いじめ防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進するとともに、継続して「体罰防止のための手引き」を活用した研修に取り組むことにより体罰のない学校づくりを進める。

○教育環境の整備

- ・子どもたちが快適な環境で学べるよう、小・中学校の普通教室にエアコンを設置する。また、学校施設耐震化に引き続き取り組み、平成27年度の完了を目指す。
- ・平成26年3月に策定した「学校規模適正化基準」について、市民に理解を深めてもらうための取り組みを進めるとともに、今後の学校規模適正化に向けた検討を行う。また、ひびきの小学校の新設に向け校舎建設等に着手する。

③ 家庭の教育力を高める

○家庭における教育・生活習慣づくりの充実

- ・家庭教育に関する情報提供、啓発活動を通して、保護者の学ぶ機会の充実を図るとともに、「家庭学習チャレンジハンドブック」の活用などを通して、家庭での学習習慣等の定着を推進する。

④ 地域の教育力を高める

○地域と連携した学校運営の実現

- ・経済界との連携による学校支援モデル事業を拡充するなど、経済界等が学校を支援する取り組みを進める。また、学校支援地域本部などのさらなる充実を図り、学校教育への地域の参画を促す。

○地域における教育活動の充実

- ・地域における教育活動の充実を図るため、関係局とも連携して子ども会などの活動団体への支援、地域や団体活動に多くの市民が参画できる仕組みづくりを推進する。
- ・スマートフォンや携帯電話の利用にかかわる課題などに対して、関係機関が連携し、地域社会全体で対応するとともに、教職員への研修や「ケータイ・スマホ夜10時オフ運動」など子どもの意識を高めるための啓発を行う。

生涯学習に関する分野

① 市民がいきいきと学び合える環境の整備

○学習機運の醸成と多様な学習機会の充実

- ・市民の生涯学習意欲を高めるとともに、市民一人ひとりが生きがいと自己実現を実感でき、あわせて住民主体の地域活動を推進するため、生涯学習市民講座など様々な学習機会の提供を充実する。

○学習を支える体制づくり

- ・八幡図書館の移転整備などの地区図書館の整備や中央図書館のカフェテリア整備など生涯学習関連施設の整備・充実を図るとともに、市内の高等教育機関や NPO などとの連携強化を図り、学習機会の提供や地域活動の活発化を図る。

② 地域活動をリードする人材の育成

○人材の育成・学びの成果と活用

- ・コムシティ内の11施設で構成され、本市の「人づくり支援機能」の中核である「北九州ひとみらいプレイス」において、人材育成事業を実施する。
- ・地域課題解決に向けた講座等を実施し、市民ニーズや社会ニーズを踏まえた地域活動をリードする人材の育成を図る。

③ 学校、家庭、地域との連携強化

○学校教育・家庭教育への支援、連携強化

- ・学校支援地域本部事業等の地域による学校の教育活動への支援を通して、学校と地域との連携の促進を図る。
- ・地域・子ども交流事業など、子どもの異学年交流や体験活動など地域における教育活動の充実を行い、家庭・地域の教育力の向上を図る。
- ・すべての教育の出発点である家庭の教育力の向上をめざし、子育てサポーターなどの活動を通じて保護者の不安の軽減を図るとともに、家庭教育に関する保護者への情報提供や啓発活動の充実を図る。

2 重点的に取り組みを行う主なもの

子どもの教育に関する分野

(1) 思いやりの心をもつ、自立した子どもをはぐくむ

I-1
継 続

・心の教育推進事業

11,314 千円

(事業概要)

いじめや不登校をはじめとした子どもたちの問題行動や、人間関係を築けない児童生徒に対応するため、社会性や規範意識、思いやりの心など豊かな人間性を育む道德教育・体験活動を推進する。

I-1
新 規

・「北九州市中学校合唱フェスティバル（仮称）」開催事業

6,278 千円

(事業概要)

音楽を通して、子どもたちに豊かな情操を育むとともに、音楽や合唱に親しむ本市の文化的風土を醸成するため、「北九州市中学校合唱フェスティバル（仮称）」を開催する。

I-1
拡 充

・「子どもひまわり学習塾」事業

133,000 千円

(うち拡充分 66,000 千円)

(事業概要)

児童生徒の主体的な学習習慣や、基礎的・基本的な学力の確実な定着を図るため、放課後等を活用した学習機会を提供する「子どもひまわり学習塾」の対象校を拡充して実施する。

I-1
新 規

・北九州市学力状況調査事業

79,942 千円

(事業概要)

本市独自の学力調査を行い、小学校から中学校まで児童生徒一人ひとりの学力を継続的に把握・分析し、学力の向上に役立てる。

I-1
拡 充

• 学校の読書活動推進事業

170,051 千円
(うち拡充分 91,751 千円)

(事業概要)

子どもたちが読書に親しむ環境を整え、学校図書館の利用を促進するため、中学校区に配置する学校図書館職員や図書館ボランティア（ブックヘルパー）の充実を図り、学校における読書活動を一層推進する。

I-1
継 続

• 部活動振興事業

109,204 千円

(事業概要)

生徒が自分の個性を伸ばし、体力の向上などに大きな役割を果たす部活動を振興するため、外部講師や設備、部活動用品等を充実するなど、生徒が部活動に参加しやすい環境を整備する。

I-1
継 続

• 環境教育推進事業

24,539 千円

(事業概要)

環境未来都市としての北九州市の独自性を活かし、環境施設等における体験を重視した環境教育を推進し、あらゆる環境活動に主体的に取り組むことができる子どもを育成する。

また、学校のユネスコスクール加盟を推進するなど、環境教育の発展を目指す。

I-1
拡 充

• 門司総合特別支援学校整備事業

<債務負担行為 76,626 千円>
2,753,809 千円
(うち拡充分 2,060,309 千円)

(事業概要)

知的障害児の増加への対応等のため、知的障害と病弱を対象とする門司総合特別支援学校を整備する。

I-1
拡 充

・ (仮称)北九州総合特別支援学校整備事業

453,464 千円

(うち拡充分 188,664 千円)

(事業概要)

総合療育センターの再整備に伴い、肢体不自由と病弱を対象とする(仮称)北九州総合特別支援学校の新校舎を整備する。

I-1
拡 充

・ 特別支援教育を推進する体制の充実

421,855 千円

(うち拡充分 123,673 千円)

(事業概要)

障害のある幼児児童生徒の適切な指導・支援の充実を図るため、小学校入学前からの早期の相談体制の充実を図るとともに、特別支援教育補助講師や特別支援教育介助員などの活用を行う。

(2) 学校・教職員の力を高める

I-1
拡 充

・ 学校支援のための市費講師配置事業

【一部再掲】 594,858 千円

(うち拡充分 55,658 千円)

(事業概要)

学力向上、いじめ・非行対策など、学校の課題や状況に柔軟に対応し、学校運営を一層に円滑に進めていくため、市費講師を拡充配置する。

I-1
継 続

・ 35人以下学級編制の実施

173,020 千円

(事業概要)

小学校1、2、3年生及び中学校1年生において35人以下学級を引き続き実施する。

また、平成27年度から、小学校4年生及び中学校3年生において学校の実情に応じて、学校長の裁量により、35人以下学級を実施する。

I-1
拡 充

・「チーム学校」運営・推進事業

【一部再掲】 356,931 千円
(うち拡充分 129,106 千円)

(事業概要)

学校を取り巻く環境が複雑化し、さまざまな教育課題への対応を迫られる中、特に生徒指導上の諸問題に対応するため、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーなど専門性を持つスタッフを拡充し、教員とともに一つのチームとして学校の教育力を高める。

I-1
拡 充

・小中学校等空調設備整備事業

<債務負担行為 1,066,588 千円>
903,819 千円
(うち拡充分 827,619 千円)

(事業概要)

良好な学習環境を確保するため、小中学校等の普通教室にエアコンを整備する。平成27年度は全中学校の普通教室に整備する。

I-1
継 続

・大規模改修事業

<債務負担行為 282,711 千円>
971,494 千円

(事業概要)

安全で安心な学校施設の整備を図るため、築後30年を経過した建物について、経年による機能低下を復旧するための大規模改修工事を実施する。

I-1
継 続

・耐震補強事業

856,526 千円

(事業概要)

学校施設に必要な耐震性を確保するため、平成27年度完了を目指して施設の耐震化を進める。

I-1
継 続

・学研地区における小学校新設事業

<債務負担行為 2,912,267 千円>
852,900 千円

(事業概要)

北九州学術研究都市整備事業の進捗により児童数が急増し、本市の分離新設基準を超えた光貞小学校の教育環境を改善するため、ひびきの小学校の校舎建設等に着手する。

(3) 家庭・地域の教育力を高める

I-1
拡 充

・ 経済界との連携による学校支援モデル事業

6,300 千円
(うち拡充分 1,300 千円)

(事業概要)

経済界と連携することで、企業がもつ人材や経営のノウハウなどを生かし、出前授業や児童向けの体験学習、教職員を対象とした研修などを行い、平成27年度も対象校を拡充して取り組む。

I-1
拡 充

・ 学校支援地域本部事業

【再掲】 31,200 千円
(うち拡充分 7,600 千円)

(事業概要)

教員が子どもと向き合う時間の確保や地域の教育力の向上を図るため、地域コーディネーターを配置する学校支援地域本部の設置校を拡充し、地域の協力のもと、様々な学校の教育活動を支援する体制づくりを推進する。

I-1
拡 充

・ 「子どもひまわり学習塾」事業

【再掲】 133,000 千円
(うち拡充分 66,000 千円)

(事業概要)

児童生徒に主体的な学習習慣や、基礎的・基本的な学力の確実な定着を図るため、放課後等を活用した学習機会を提供する「子どもひまわり学習塾」の対象校を拡充して実施する。

生涯学習に関する分野

(1) 市民がいきいきと学び合える環境の整備

I-3
拡 充

・ 八幡図書館移転整備事業

450,679 千円
(うち拡充分 448,579 千円)

(事業概要)

新八幡病院の移転・整備に伴い、九州国際大学文化交流センターに移転する新八幡図書館の設計業務を行うとともに、改修工事等を実施する。

I-3
継 続

・小倉南図書館整備推進事業

34,800 千円

(事業概要)

小倉南区の地区図書館整備に向けて、引き続き整備推進に必要な基本・実施設計を行う。

I-3
新 規

・中央図書館カフェテリア整備事業

44,302 千円

(事業概要)

中央図書館の利用者サービスの向上や賑わいづくりなどを目的に、館内にカフェテリアの整備を行う。

(2) 地域活動をリードする人材の育成

I-3
継 続

・北九州市民カレッジ事業

5,944 千円

(事業概要)

市民の高度で専門的かつ多様な学習ニーズに対応した学習機会を提供し、自己実現の促進及び生涯学習社会を担う人材の育成を図る。

I-3
継 続

・北九州ひとみらいプレイス事業

6,713 千円

(事業概要)

コムシティ内の各種施設が連携して、本市の人づくり支援機能の新たな展開を目指すとともに、副都心黒崎の賑わいづくりを行う。

(3) 学校、家庭、地域との連携強化

I-1
拡 充

・ 学校支援地域本部事業

31,200 千円
(うち拡充分 7,600 千円)

(事業概要)

教員が子どもと向き合う時間の確保や地域の教育力の向上を図るため、地域コーディネーターを配置する学校支援地域本部の設置校を拡充し、地域の協力のもと、様々な学校の教育活動を支援する体制づくりを推進する。

その他

I-1
新 規

・ 総合教育会議の開催

1,542 千円

(事業概要)

市長と教育委員会が教育行政の重点的な施策などを協議・調整する場である「総合教育会議」を開催する。

I-1
新 規

・ 県費負担教職員の権限移譲に係る人事・給与システム等の構築

<債務負担行為 112,000 千円>
133,800 千円

(事業概要)

市町村立学校職員給与負担法の改正により、平成 29 年度を目途に県より指定都市に県費負担教職員の給与負担等の権限が移譲されるため、人事給与システムの新規構築を行うとともに、サービス管理システムの改修に着手する。

I-3
継 続

・ 生涯学習推進計画次期計画の策定

1,276 千円

(事業概要)

現行の「北九州市生涯学習推進計画」が平成 27 年度に終了することから、平成 26 年度に引き続き、社会教育委員から選出された代表委員と学識経験者で構成する検討会議を開催し、次期計画（平成 28 年度～32 年度）を策定する。

I-1
新規

・「子ども読書プラン」次期計画の策定

4,143 千円

(事業概要)

現行の「北九州市子ども読書プラン」が平成27年度に終了することから、次期計画の策定に向け、市民アンケート調査を行い、その結果を踏まえ、学識経験者や読書ボランティアなどで構成する「子どもの読書活動推進会議」を開催し、次期計画（平成28年度～32年度）を策定する。